

市政を問う

一般質問



6月定例会は8人の議員が6月24日(3人)と25日(5人)に一般質問を行いました。各議員の質問と市長を始めとする市当局の答弁(要旨)は次のとおりです。

※掲載順序は質問順です。

※質問、答弁についての議事録は8月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

専門のアドバイザーに巡回してもらい職員の情報向上や相談を受ける取り組みを行っています。放課後児童クラブへのアンケートでは9割を超える前向きな回答をもらっています。

問 障がいのある児童の受入れを強化するために半田市が取り組んだ成果を伺います。

事業者を確認したところ0件でした。入所に至らなかったことがあったとのことですが、保護者との合意等が取れているものと伺っています。

問 過去3年間で半田市が委託する学童保育において、入所を断った件数を伺います。

様々なニーズに応える子どもたちの放課後の居場所

田中高久
(創造みらい半田)



子どもたちの居場所の必要性は十分に認識しています。まずは放課後ひろばを全小学校区に開設できるように進めていきます。また提案のあった、児童育成支援拠点事業については、調査研究から進めていきます。

問 新たに子どもたちの居場所を地域で増やしていく必要があると考えますが見解を伺います。

事業者には、地域からの厚い信頼と今までのつながりがあるため、現段階では適さない判断をしています。

問 学童保育の契約方法を競争入札にしてはどうかと考えますが見解を伺います。

それらをすべて移行することは困難ですが、地域の方からご提案をいただいて一緒に放課後ひろばを作っていきます。

問 放課後ひろばでは移行できない児童センターの遊びや行事等はどのようにしていきますか。

各小学校に子どもの居場所が必要と考え、放課後ひろばの設置を計画しています。他の地域とのバランスと効率的な運営を考え、閉館を決定しました。

問 利用者や地域の方の理解が得られないまま亀崎児童センターの閉館を決めた理由は何ですか。

亀崎児童センターの閉館の中止を求める

有留麻由
(無所属)



国がするべきものと認識しており、現時点で無償にする考えはありません。

問 重要であるならば、短期間や部分的にでも無償にするべきではないですか。

給食はセーフティネットであり、大変重要なものだとして認識しています。

問 給食費無償化について半田市の見解を伺います。

全ての子どもたちの給食費を無償に

2つの施設を運営していく考えはありませんが、地域の方に関わっていただき、充実した放課後ひろばにしていきたいです。

問 利用者や地域の方の理解が得られるまで、閉館は中止すべきではありませんか。